

7. 地域スタートアップ等支援事業 拡

(予算額)43,000千円
(所管課)起業・新産業支援課

○スタートアップ等の成長段階に応じた伴走型支援やグローバル展開の支援等に要する経費

現状・課題

- 政府により「スタートアップ育成5か年計画」が策定されるなど、地域課題をビジネスチャンスに転換し、持続的な経済発展を実現するスタートアップに対する育成・支援体制の構築は、全国的に重要性を増している。
- 本市においても、地域経済の持続的な発展に向け、地域が一体となり、域内で次々にスタートアップが生まれ育つ土壌(熊本版スタートアップエコシステム)の構築に取り組む必要がある。

事業概要

○事業費:43,000千円

○事業内容

- (1)スタートアップ等※の成長段階に応じた伴走支援に関する経費【24,500千円】^{〔拡充〕}
立上期やミドルステージなどのスタートアップ等の成長段階に応じた伴走支援を行うほか、全国に対し事業プレゼンを行う機会としてピッチイベントを開催する。
※スタートアップ等:新しい技術やサービス、ビジネスモデルを軸に、成長が期待できる起業家や新事業に取り組む中小企業等
- (2)若手起業家の育成に関する経費【4,000千円】
域内のスタートアップと学生をマッチングし、インターン従事へ繋げることで、域内の起業気運の醸成や若手起業家の発掘を支援する。
- (3)グローバル展開向け支援に関する経費【9,100千円】^{〔拡充〕}
JETRO(独立行政法人日本貿易振興機構)と連携した伴走支援や、グローバル展開向け国プログラムの採択を目的としたプログラムの実施に加え、スタートアップワールドカップの予選会を本市で開催することで、世界を視野に入れた視座の高い若手起業家の育成や熊本から世界展開するスタートアップ等の発掘・育成を目指す。
- (4)スタートアップ支援関連負担金等に関する経費【5,400千円】
スタートアップ都市づくりに先進的に取り組む他自治体と合同でのピッチ事業や、熊本県や民間団体と連携し、県内経営者・起業家等を対象としたイベントを開催するほか、首都圏のスタートアップ拠点施設を借り上げ、首都圏への進出を支援する。

イメージ図

